

健康経営指標（KPI）実績の推移

▼ワーク・エンゲイジメント

	2025年度	2024年度	2023年度
測定方法	新職業性ストレス 簡易調査票80問版	新職業性ストレス 簡易調査票80問版	新職業性ストレス 簡易調査票80問版
結果 (目標：3.0点以上)	2.5点 (測定人数416名、回答率100%)	2.4点 (測定人数411名、回答率100%)	2.3点 (測定人数412名、回答率100%)

2023年度から、ストレスチェック「新職業性ストレス簡易調査票80問版」での測定を開始し、回答を得た。会社目標は、全国平均の2.5以上とし、従業員のワーク・エンゲイジメントを今後も向上させるため、労使協議会での活発な意見交換を行い、働きやすい職場環境の整備を進める。また、項目数値は施策の評価指標として経年で比較する。

▼アブセンティーズム

	2025年度	2024年度	2023年度
測定方法	従業員へのアンケート調査 (従業員意識調査（モラルサーベイ）)	従業員へのアンケート調査 (従業員意識調査（モラルサーベイ）)	従業員へのアンケート調査 (従業員意識調査（モラルサーベイ）)
結果 (目標：2.0日以下)	2025年下期に実施予定	0.37日 (測定人数273名、回答率77.8%)	0.59日 (測定人数329名、回答率95.6%)

2022年度より、従業員意識調査（モラルサーベイ）内に設問（病気による休暇取得日数が何日あるか）を組み込み測定。結果は回答した従業員の平均を算出した。測定を開始してから、現在まで病気による休暇取得日数は減少傾向にある。

▼プレゼンティーズム

	2025年度	2024年度	2023年度
測定方法	WFun (Work Functioning Impairment Scale)	WFun (Work Functioning Impairment Scale)	WFun (Work Functioning Impairment Scale)
結果 (目標：A判定)	92.7%：A判定 (測定人数416名、回答率100%)	92.8%：A判定 (測定人数411名、回答率100%)	92.5%：A判定 (測定人数412名、回答率100%)

2023年度より、WFun（Work Functioning Impairment Scale）にて測定を実施。全体だけでなく部署別での結果も把握でき、「痛み」、「睡眠」など新たな課題が明確になった。今後はそれら課題へ向けて施策を実行し、効果検証していく。